

平成 24 年 10 月 29 日

各 位 殿

会社名 大山日ノ丸証券株式会社
所在地 鳥取県鳥取市吉方温泉三丁目 1 0 1 番地
代表者 代表取締役社長 広 瀬 公 一
問合せ先 取締役管理部長 安 永 俊 之
電話番号 0857-21-1111 (代表)

会社名 北田証券株式会社
所在地 岡山県倉敷市中央一丁目 4 番 1 号
代表者 取締役社長 北 田 一 雄
問合せ先 取締役総務部長 横 溝 洋 治
電話番号 086-422-2300 (代表)

事業譲渡に関するお知らせ

平成 24 年 10 月 26 日、大山日ノ丸証券株式会社（以下大山日ノ丸証券）と北田証券株式会社（以下北田証券）は、北田証券の金融商品取引業者として行なう事業全般を、平成 25 年 1 月 28 日付にて、大山日ノ丸証券が無償で譲り受けることに合意し、事業譲渡契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業譲渡の背景

リーマンショックから 4 年を経過した現在、欧州債務危機、米国の財政の崖、中国景気の失速など、世界景気の先行き不透明感が一層増しており、株式取引の今 7~9 月の売買代金は約 7 年ぶりの低水準に落ち込むなど、証券業界を取り巻く環境は一層厳しさを増しております。

北田証券は、株式の売買仲介業務を中心に事業を行なうとともに投資信託などの募集商品の販売にも注力して参りましたが、昨今の株式売買高の減少に伴う手数料収入の減少を補うためには、お客様のニーズに応じたタイムリーな募集販売商品の仕入れ、また販売商品の大量一括仕入れによる仕入れコストの引き下げ、業務系コンピューターシステムの共通化によるコスト削減が喫緊の課題であり、課題の解決のためには同業他社との経営統合が必要であるとの認識に至りました。

一方 大山日ノ丸証券は、株式、投資信託に加え、外国株式、外国債券、仕組み債、保険などの販売を通じて、収益基盤の多角化を進めてまいりましたが、今後の一層の飛躍のためには、山陰以外の新たな地域で新たなお客さまを開拓することが必要であると考え、

経営統合を含めた新たな事業展開を模索しておりました。

大山日ノ丸証券と北田証券は、ともに中国地区における老舗の地場証券として相互に頻りに経営上の課題等について情報交換をしてまいりました。また両社は、株式注文の取次ぎ先が、かつては現みずほ証券である新光証券、現在は証券ジャパンと共通であり、さらに業務系コンピューターシステムも日本電子計算の同一システムを使用していることから、両社が経営統合を行なううえでの物的なインフラ、ならびに人的交流は申し分のない状況にございました。

大山日ノ丸証券は、山陽という新しい市場のお客様の獲得が今後の一層の飛躍の礎になり、また北田証券は、経営統合のための事業譲渡先として人的、物的いずれの面においても最適であると考え、双方の意向が一致し、営業譲渡による経営統合を行なう運びとなりました。

2. 事業を譲り受ける大山日ノ丸証券の概要

- (1) 商号 大山日ノ丸証券株式会社
- (2) 所在地 鳥取県鳥取市吉方温泉三丁目101番地
- (3) 設立年月日 昭和32年10月10日
- (4) 資本金 215百万円
- (5) 代表者 広瀬 公一
- (6) 事業内容 金融商品取引業

3. 事業を譲渡する北田証券の概要

- (1) 商号 北田証券株式会社
- (2) 所在地 岡山県倉敷市中央一丁目4番1号
- (3) 設立年月日 昭和23年4月28日
- (4) 資本金 130百万円
- (5) 代表者 北田 一雄
- (6) 事業内容 金融商品取引業

4. 大山日ノ丸証券が譲り受ける事業の内容

北田証券の株式、債券、投資信託、デリバティブ取引等金融商品取引業者として行う事業全般。北田証券の従業員。

5. 事業譲渡日程

- (1) 大山日ノ丸証券
平成24年10月17日 取締役会の承認決議を行ないました。
- (2) 北田証券
平成24年10月17日 取締役会の承認決議を行ないました。
平成24年11月24日 株主総会にて承認決議予定です。

6. 北田証券のお客様の引継ぎについて

平成 25 年 1 月 25 日（金曜日）をもって北田証券は営業を終了します。

平成 25 年 1 月 28 日（月曜日）より北田証券のお客さまは、大山日ノ丸証券の倉敷支店として引き継ぎますので、継続してお取引いただけます。

7. 株主および資本の変更

当事業の譲受は無償で行なわれるため、大山日ノ丸証券の株主および資本の変更はありません。

以上